| 学校番号 | 104 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典探究 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 精選古典探究　古文編・漢文編　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 必携　完成古典文法　改訂版（尚文出版）<br>漢文必携　五訂版（桐原書店）<br>漢文必携　五訂版　チェックノート　基本編（桐原書店）<br>読んで見て聞いて覚える　重要古文単語 315　四訂版（桐原書店）<br>短期集中シリーズ古文ノート 助詞・敬語・識別編（桐原書店）<br>短期集中シリーズ古文ノート　和歌編（桐原書店）<br>大学入試国語頻出問題 1200［五訂版］（いいずな書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文の文法や単語の意味、古典常識などの基礎的な知識を身に付けましょう。
・授業では、物語・説話・随筆・和歌などいろいろなジャンル、時代のものを取り上げます。
　内容理解に加えて、登場人物の心情や筆者の考えなど理解を深めてください。
・漢文は、長編に挑戦して、句形や助字の意味など基本的な理解と、壮大な漢文の世界を知ってください。
・古典学習に積極的に取り組み、生涯にわたって古典に親しみ、昔の人々の生活や考えへの理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

・学習を通じて、語彙力や古文単語、漢文句形などの知識を身に付けて、内容理解を深める。
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。
・様々な文章や作品に触れ、自己のものの見方、感じ方、考え方を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 展開のおもしろさを味わいながら，説話を正確に読み取る。<br>［教材］ 説話<br>『古今著聞集』<br>【能は歌詠み】 | a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，文章の種類とその特徴について理解を深めている。作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b:「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉え，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。<br>c：進んで和歌を含んだ説話の構成を的確にとらえ、二つの和歌の共通点や、和歌をめぐる登場人物の対応の仕方について考えようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。<br>［教材］ 随筆<br>『枕草子』 清少納言<br>【二月つごもりごろに】<br>【中納言参り給ひて】 | a：・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。<br>・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b:「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。<br>「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結びつけ，考えを広げたり深めたりしている。<br>c：進んで作者の観察眼や価値観について理解し，作者の価値観が現代でもあてはまる例について考察し，平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 他の作品との関係も踏まえながら日記を読み，作者の境遇を的確に捉える。<br>［教材］ 日記<br>『蜻蛉日記』<br>【なげきつつひとり寝る夜】 | a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。<br>b:「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。<br>c：進んで文学史における女流日記文学の位置づけについて理解し，学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 展開のおもしろさを味わいながら，漢文の読み方を確認する。<br>［教材］ 小話<br>『十八史略』<br>【先従隗始】 | a：古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。<br>b:「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している<br>c：進んで漢文の読み方を確認し，学習課題に沿って，故事成語の果たす役割について考えようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 他の作品との関係を踏まえながら多面的・多角的に随筆を読み，考えを広げる。<br>［教材］ 随筆<br>『玉勝間』 本居宣長<br>【兼好法師が詞のあげつらひ】<br>『徒然草』 兼好法師<br>【あだし野の露消ゆる時なく】 | a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。<br>b「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。<br>c：進んで他作品との関連について理解しながら，学習課題に沿って随筆における作者の考えを捉え，自らの考えを広げようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 他の作品や絵との関係も踏まえながら，作り物語の内容を的確に読み取る。<br>［教材］<br>［教材］ 作り物語<br>『源氏物語』 紫式部<br>【光源氏の誕生】 桐壺<br>【若紫】若紫 | a：古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。<br>b：「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。<br>c：進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し，登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 作品中の登場人物の生き方を通して人間のあり方や人間関係の在り方について考えを深める。<br>［教材］ 史記 1<br>『史記』 司馬遷<br>【鴻門之会】 | a：・古典を読むために必要な語彙を豊かにし、訓読のきまりについて理解を深めている。<br>b：「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。<br>c：登場人物の生き方を理解し、学習課題に沿って、人間のあり方について関心を深めている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| 三学期 | 作品の特色に注意しながら，歴史物語の内容を的確に捉える。<br>［教材］ 歴史物語<br>『大鏡』<br>【花山天皇の出家】 | a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。<br>b：「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。<br>c：進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し，学習課題に沿って内容について意見を述べ合い，自分の考えを深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |
| | 小説の展開に即して，内容を正確に読み取りながら，発想や表現の特色を理解する。<br>［教材］ 小説 1<br>『世説新語』<br>【小時了了】 | a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b：「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。<br>c：漢文における「小説」について理解し，自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート<br>ワークシート | ノート<br>ワークシート |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間